

報道関係者各位

プレスリリース

2017年6月8日

一般社団法人 TransferJet コンソーシアム

10Gbps を超える超高速近接無線通信の国際標準規格化を完了

－ 瞬時の大容量データ送受信の実現により IoT 社会に貢献 －

一般社団法人 TransferJet コンソーシアム（所在地：東京都港区）は、そのプロモータ企業である 4 社「ソニー株式会社」「日本無線株式会社」「日本電信電話株式会社」「株式会社東芝」と協力し、米国に本部を持つ電気電子学会 IEEE にて規格化活動を行い、10Gbps を超える超高速近接無線通信 IEEE802.15.3e の国際標準規格化を完了いたしました。なお、本活動に際し韓国 ETRI（韓国電子通信研究院）のご協力を賜りました。本規格では、これまでの TransferJet のコンセプトを進化させ、あらゆる「かざす」機会を大容量データの瞬時転送の機会ととらえます。TransferJet の特徴である簡単な操作性を維持しつつ、10Gbps を超える超高速通信で、4K 解像度やバーチャルリアリティの映像といった大容量データを瞬時に転送します。また通信開始までの接続時間は 2msec 以下と大幅に短縮しました。これにより改札ゲート通過時のコンテンツ配信など、新たなユースケースの創出も検討しています。

TransferJet コンソーシアムでは、本規格をベースにした新たな高速近接通信技術“**TransferJet X (トランスファージェット エックス)**”の策定を進めます。TransferJet X 搭載の機器が普及することで、従来のモバイルネットワークを補完し、かつ将来のモバイルトラフィック状況が改善されることが期待されます。また、新しいアプリケーションやサービスの創出にも貢献して参ります。

なお、TransferJet X に対応した SoC (System on a Chip) については、高速近接無線技術研究組合（所在地：東京都台東区、組合員：ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社・日本無線株式会社）にて開発中です。

仕様

キャリア周波数	60GHz 帯
最大転送速度 (SISO*)	13.1Gbps 256QAM
接続時間	2msec 以下
通信トポロジー	1 対 1 双方向

* SISO: Single-Input, Single-Output



図1 歩きながら改札でタッチし瞬時にゲット



図2 KIOSK等でコンテンツ(アプリ・ソフト)を瞬時にダウンロード、もしくは個人の動画・画像を瞬時にアップロード

■ TransferJetコンソーシアムについて

TransferJetコンソーシアムは2008年、TransferJet技術を適用した幅広いアプリケーションを開発するという共通の目標の下、国際的な企業が集まり設立されました。規格策定、コンプライアンステストプロセス、ツールの開発のほか、TransferJetの概念、技術、アプリケーション、サービスを促進するためのマーケティング活動を行っています。またTransferJet規格はISO/IEC 17568にも登録されています。

TransferJetコンソーシアムではAdopter会員を随時募集しています。団体の活動や加盟方法など、さらに詳しい情報はホームページ(<http://www.transferjet.org/ja>)をご覧ください。

* TransferJet および TransferJet ロゴは、TransferJet コンソーシアムの商標です。

【本案内に関する問合せ先】

TransferJetコンソーシアム事務局

E-mail : tjc-pr@members.transferjet.org